

【PLAN】事務事業の計画

事務事業番号

1

記入日

平成27年3月31日

所属部課名

岩間支所 福祉課

5 事務事業の目的と手段					単位
目的	①対象 (働きかける相手・もの)	主に岩間地区に住居を有する高齢者	④ 対象 指標	利用予定者(延べ件数)	件
	②事務事業の意図(どのようにしたいのか。どういう状態にしたいのか)	高齢者福祉の推進 申請・相談等を最寄の支所で受付けることにより迅速に必要なサービスを利用できるようにする。	⑤ 成果 指標	相談・受付件数	件
手段	③目的を達成するために実際に行った行政活動(サービス)	高齢者福祉の総合的な相談及び各種受付事務	⑥ 活動 指標	相談・受付件数	件

事業費及び指標の推移

[illegible]

社会情勢の変化・市民ニーズの把握

事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》

【CHECK】事務事業の一次評価

必要性 評価	①行政関与の必要性 《目的達成に向けて、行政の範囲は行政の役割から見て適切か？また市民の意向や社会の要請から見て適切か？》
	②総合計画との整合性、対象と意図の妥当性 《目的(対象と意図)は総合計画と結びついているか？実態(社会環境の変化)に合っているか？》
有効性 評価	③成果の向上余地 《成果は、昨年度と比べてどうであったか？工夫をすることで今後、更なる成果向上ができるか？》
	④成果の波及効果《全市民、または多くの市民や他の施策への波及効果があるか？》
効率性 評価	⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の見直し、市民の協力など)》
	⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費を削減できないか？(業務プロセスの見直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》
一次評価結果	
全体総括(振り返り、反省点)	
必要性 ☐ 適切 ☐ 見直しの余地がある	
有効性 ☐ 適切 ☐ 見直しの余地がある	
効率性 ☐ 適切 ☐ 見直しの余地がある	

【ACTION】事務事業の改革・改善

①改革・改善案
②改革・改善案を実現する上で克服すべき課題と解決方法

フォローアップ 前年度の課題や問題点

③前年度の改革・改善案
④取組状況

その他

⑤事務事業を休止、廃止した場合の成果への影響の有無とその対策
☐ 影響は大きく、問題の発生が予想される
☐ 代替案や対策を採ることで対応できる
⑥類似事業との統廃合・連携の可能性（民間活動も含む）
☐ 他に手段がない
☐ 他に手段がある(事務事業名・活動名)
名称
☐ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる
☐ 統廃合や連携はできない・既に連携している

【PLAN】事務事業の計画

総合評価	今後の方向性		評価理由
	資源配分		

【PLAN】事務事業の計画

事務事業番号

2

記入目

平成27年3月31日

所属部課名

岩間支所 福祉課

[illegible]

社会情勢の変化・市民ニーズの把握

事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》

【CHECK】事務事業の一次評価

必要性 評価	①行政関与の必要性 《目的達成に向けて、行政の範囲は行政の役割から見て適切か？また市民の意向や社会の要請から見て適切か？》 ②総合計画との整合性、対象と意図の妥当性 《目的(対象と意図)は総合計画と結びついているか？実態(社会環境の変化)に合っているか？》	老人福祉事業を行う上で必要である。
	☒ 適切である ☐ 見直しの余地がある	
有効性 評価	③成果の向上余地 《成果は、昨年度と比べてどうであったか？工夫をすることで今後、更なる成果向上ができるか？》 ④成果の波及効果《全市民、または多くの市民や他の施策への波及効果があるか？》	福祉事業に係る支所での受付相談業務は必要である。 一般開放の利用者が増加した。
	☒ 向上の余地がない ☐ 向上の余地がある	
効率性 評価	⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の見直し、市民の協力など)》 ⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費を削減できないか？(業務プロセスの見直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》	指定管理者により、適正に事業が行われている。
	☒ 削減の余地がない ☐ 削減の余地がある	
一次評価結果		全体総括(振り返り、反省点)
必要性	☒ 適切 ☐ 見直しの余地がある	高齢者の介護予防の増進のため、引続き事業を進める必要がある。
有効性	☒ 適切 ☐ 見直しの余地がある	
効率性	☒ 適切 ☐ 見直しの余地がある	

【ACTION】事務事業の改革・改善

①改革・改善案
②改革・改善案を実現する上で克服すべき課題と解決方法

フォローアップ 前年度の課題や問題点

③前年度の改革・改善案
④取組状況

その他

⑤事務事業を休止、廃止した場合の成果への影響の有無とその対策
影響は大きく、問題の発生が予想される代替案や対策を採ることで対応できる
⑥類似事業との統廃合・連携の可能性（民間活動も含む）
他に手段がない 他に手段がある(事務事業名・活動名)
名称
他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる統廃合や連携はできない・既に連携している

【PLAN】事務事業の計画

総合評価	今後の方向性	現行どおり継続	評価理由 高齢者の介護予防の増進のため、現行どおり継続すべきである。
	資源配分	現 状 維 持	

【PLAN】事務事業の計画 事務事業番号 3

[illegible]

社会情勢の変化・市民ニーズの把握

事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》

【CHECK】事務事業の一次評価

必要性 評価	①行政関与の必要性 《目的達成に向けて、行政の範囲は行政の役割から見て適切か？また市民の意向や社会の要請から見て適切か？》
	②総合計画との整合性、対象と意図の妥当性 《目的(対象と意図)は総合計画と結びついているか？実態(社会環境の変化)に合っているか？》
有効性 評価	③成果の向上余地 《成果は、昨年度と比べてどうであったか？工夫をすることで今後、更なる成果向上ができるか？》
	④成果の波及効果《全市民、または多くの市民や他の施策への波及効果があるか？》
効率性 評価	⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の見直し、市民の協力など)》
	⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費を削減できないか？(業務プロセスの見直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》
一次評価結果	
全体総括(振り返り、反省点)	
必要性 ☐ 適切 ☐ 見直しの余地がある	
有効性 ☐ 適切 ☐ 見直しの余地がある	
効率性 ☐ 適切 ☐ 見直しの余地がある	

【ACTION】事務事業の改革・改善

①改革・改善案
②改革・改善案を実現する上で克服すべき課題と解決方法

フォローアップ 前年度の課題や問題点

③前年度の改革・改善案
④取組状況

その他

⑤事務事業を休止、廃止した場合の成果への影響の有無とその対策
影響は大きく、問題の発生が予想される代替案や対策を採ることで対応できる
⑥類似事業との統廃合・連携の可能性（民間活動も含む）
他に手段がない 他に手段がある(事務事業名・活動名)
名称
他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる 統廃合や連携はできない・既に連携している

【PLAN】事務事業の計画

総合評価	今後の方向性		評価理由
	資源配分		

【PLAN】事務事業の計画

事務事業番号

4

記入目

平成27年3月31日

所属部課名

岩間支所 福祉課

5 事務事業の目的と手段					単位
目的	①対象 (働きかける相手・もの)	岩間地区民生委員・児童委員	④ 対象 指標	民生・児童委員	人
	②事務事業の意図(どのようにしたいのか。どういう状態にしたいのか)	住民福祉の向上と民生・児童委員の識見の向上を目指す	⑤ 成果 指標	定例会出席率	%
手段	③目的を達成するために実際に 行った行政活動(サービス)	定例会、研修会の実施 笠間市連合民生委員児童委員協議会補助金	⑥ 活動 指標	地区民児協定例会・研修会	回

事業費及び指標の推移

[illegible]

事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化（開始時期又は5年前との比較）・市民からの意見や要望》 平成25年12月に一斉改選が実施され、依然として一人暮らし高齢者を取り巻く環境は厳しい状況にある。行政とのパイプ役である民生・児童委員の活動も益々多忙となることが予想される。

必要性評価	①行政関与の必要性《目的達成に向けて、行政の範囲は行政の役割から見て適切か？また市民の意向や社会の要請から見て適切か？》		今後ますます一人暮らし高齢者等が増加する中で、行政とのパイプ役等必要性は非常に高い。
	②総合計画との整合性、対象と意図の妥当性《目的(対象と意図)は総合計画と結びついているか？実態(社会環境の変化)に合っているか？》		
有効性評価	☒ 適切である ☐ 見直しの余地がある		各地区ごとに民生委員が配置され、要援護者からの相談、見守り、援助等幅広い活動を担っている。
	☒ 向上の余地がない ☐ 向上の余地がある		
効率性評価	⑤事業費の削減余地《活動量を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の見直し、市民の協力など)》		費用弁償費、補助金を交付することにより運営が可能となっている。
	⑥人件費の削減余地《活動量を下げずに人件費を削減できないか？(業務プロセスの見直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》		
☒ 削減の余地がない ☐ 削減の余地がある			
一次評価結果			全体総括(振り返り、反省点)
必要性	☒ 適切	☐ 見直しの余地がある	高齢化社会において、行政からの調査、報告事務が増加し、民生委員活動が益々多忙となる。
有効性	☒ 適切	☐ 見直しの余地がある	
効率性	☒ 適切	☐ 見直しの余地がある	

①改革・改善案	
②改革・改善案を実現する上で克服すべき課題と解決方法	

③前年度の改革・改善案	
④取組状況	

⑤事務事業を休止、廃止した場合の成果への影響の有無とその対策
影響は大きく、問題の発生が予想される 代替案や対策を採ることで対応できる
⑥類似事業との統廃合・連携の可能性（民間活動も含む）
他に手段がない 他に手段がある(事務事業名・活動名)
名称
他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる 統廃合や連携はできない・既に連携している

総合評価	今後の方向性	現行どおり継続	評価理由 高齢化社会において、行政からの調査及び高齢者世帯の見守り活動、社会福祉協議会のボランティア活動等、民生委員活動が益々多忙となる。
	資源配分	現 状 維 持	

【PLAN】事務事業の計画

事務事業番号

5

記入目

平成27年3月31日

所属部課名

岩間支所 福祉課

5 事務事業の目的と手段					単位
目的	①対象 (働きかける相手・もの)	主に岩間地区に住居を有する者	④ 対象 指標	利用予定者	件
	②事務事業の意図(どのようにしたいのか。どういう状態にしたいのか)	社会福祉の増進 申請・相談等を最寄の支所で受付けることにより迅速に必要なサービスを利用できるようにする。	⑤ 成果 指標	相談・受付件数	件
	手段	③目的を達成するために実際に行った行政活動(サービス)	⑥ 活動 指標	相談・受付件数	件

事業費及び指標の推移

[illegible]

社会情勢の変化・市民ニーズの把握

事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》

【CHECK】事務事業の一次評価

必要性 評価	①行政関与の必要性 《目的達成に向けて、行政の範囲は行政の役割から見て適切か？また市民の意向や社会の要請から見て適切か？》
	②総合計画との整合性、対象と意図の妥当性 《目的(対象と意図)は総合計画と結びついているか？実態(社会環境の変化)に合っているか？》
有効性 評価	③成果の向上余地 《成果は、昨年度と比べてどうであったか？工夫をすることで今後、更なる成果向上ができるか？》
	④成果の波及効果《全市民、または多くの市民や他の施策への波及効果があるか？》
効率性 評価	⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の見直し、市民の協力など)》
	⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費を削減できないか？(業務プロセスの見直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》
一次評価結果	
全体総括(振り返り、反省点)	
必要性 ☐ 適切 ☐ 見直しの余地がある	
有効性 ☐ 適切 ☐ 見直しの余地がある	
効率性 ☐ 適切 ☐ 見直しの余地がある	

【ACTION】事務事業の改革・改善

①改革・改善案
②改革・改善案を実現する上で克服すべき課題と解決方法

フォローアップ 前年度の課題や問題点

③前年度の改革・改善案
④取組状況

その他

⑤事務事業を休止、廃止した場合の成果への影響の有無とその対策
影響は大きく、問題の発生が予想される代替案や対策を採ることで対応できる
⑥類似事業との統廃合・連携の可能性（民間活動も含む）
他に手段がない 他に手段がある(事務事業名・活動名)
名称
他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる 統廃合や連携はできない・既に連携している

【PLAN】事務事業の計画

総合評価	今後の方向性		評価理由
	資源配分		

【PLAN】事務事業の計画

事務事業番号

6

記入目

平成27年3月31日

所属部課名

岩間支所 福祉課

5 事務事業の目的と手段					単位
目的	①対象 (働きかける相手・もの)	主に岩間地区に住居を有する障害者	④ 対象 指標	利用予定者	件
	②事務事業の意図(どのようにしたいのか。どういう状態にしたいのか)	障害者福祉の増進 申請・相談等を最寄の支所で受付けることにより迅速に必要なサービスを利用できるようにする。	⑤ 成果 指標	相談・受付件数	件
	③目的を達成するために実際に 行った行政活動(サービス)	障害者福祉の総合的な相談及び各種受付事務	⑥ 活動 指標	相談・受付件数	件

事業費及び指標の推移

[illegible]

社会情勢の変化・市民ニーズの把握

事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》

【CHECK】事務事業の一次評価

必要性 評価	①行政関与の必要性 《目的達成に向けて、行政の範囲は行政の役割から見て適切か？また市民の意向や社会の要請から見て適切か？》
	②総合計画との整合性、対象と意図の妥当性 《目的(対象と意図)は総合計画と結びついているか？実態(社会環境の変化)に合っているか？》
有効性 評価	③成果の向上余地 《成果は、昨年度と比べてどうであったか？工夫をすることで今後、更なる成果向上ができるか？》
	④成果の波及効果《全市民、または多くの市民や他の施策への波及効果があるか？》
効率性 評価	⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の見直し、市民の協力など)》
	⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費を削減できないか？(業務プロセスの見直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》
一次評価結果	
全体総括(振り返り、反省点)	
必要性 ☐ 適切 ☐ 見直しの余地がある	
有効性 ☐ 適切 ☐ 見直しの余地がある	
効率性 ☐ 適切 ☐ 見直しの余地がある	

【ACTION】事務事業の改革・改善

①改革・改善案
②改革・改善案を実現する上で克服すべき課題と解決方法

フォローアップ 前年度の課題や問題点

③前年度の改革・改善案
④取組状況

その他

⑤事務事業を休止、廃止した場合の成果への影響の有無とその対策
影響は大きく、問題の発生が予想される代替案や対策を採ることで対応できる
⑥類似事業との統廃合・連携の可能性（民間活動も含む）
他に手段がない 他に手段がある(事務事業名・活動名)
名称
他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる 統廃合や連携はできない・既に連携している

【PLAN】事務事業の計画

総合評価	今後の方向性		評価理由
	資源配分		

【PLAN】事務事業の計画

事務事業番号

7

記入日

平成27年3月31日

所属部課名

岩間支所 福祉課

5 事務事業の目的と手段					単位
目的	①対象 (働きかける相手・もの)	主に岩間地区に住居を有する児童等	④ 対象 指標	利用予定者	件
	②事務事業の意図(どのようにしたいのか。どういう状態にしたいのか)	児童福祉の増進 申請・相談等を最寄の支所で受付けることにより迅速に必要なサービスを利用できるようにする。	⑤ 成果 指標	相談・受付件数	件
	手段	③目的を達成するために実際に行った行政活動(サービス)	⑥ 活動 指標	相談・受付件数	件

事業費及び指標の推移

[illegible]

社会情勢の変化・市民ニーズの把握

事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》

【CHECK】事務事業の一次評価

必要性 評価	①行政関与の必要性 《目的達成に向けて、行政の範囲は行政の役割から見て適切か？また市民の意向や社会の要請から見て適切か？》
	②総合計画との整合性、対象と意図の妥当性 《目的(対象と意図)は総合計画と結びついているか？実態(社会環境の変化)に合っているか？》
有効性 評価	③成果の向上余地 《成果は、昨年度と比べてどうであったか？工夫をすることで今後、更なる成果向上ができるか？》
	④成果の波及効果《全市民、または多くの市民や他の施策への波及効果があるか？》
効率性 評価	⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の見直し、市民の協力など)》
	⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費を削減できないか？(業務プロセスの見直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》
一次評価結果	
全体総括(振り返り、反省点)	
必要性	☐ 適切 ☐ 見直しの余地がある
有効性	☐ 適切 ☐ 見直しの余地がある
効率性	☐ 適切 ☐ 見直しの余地がある

【ACTION】事務事業の改革・改善

①改革・改善案
②改革・改善案を実現する上で克服すべき課題と解決方法

フォローアップ 前年度の課題や問題点

③前年度の改革・改善案
④取組状況

その他

⑤事務事業を休止、廃止した場合の成果への影響の有無とその対策
影響は大きく、問題の発生が予想される代替案や対策を採ることで対応できる
⑥類似事業との統廃合・連携の可能性（民間活動も含む）
他に手段がない 他に手段がある(事務事業名・活動名)
名称
他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる 統廃合や連携はできない・既に連携している

【PLAN】事務事業の計画

総合評価	今後の方向性		評価理由
	資源配分		